

今後の主な対話項目【トンネル発生土関連】進捗状況

【9/6専門部会終了時点】

トンネル発生土関連5項目のうち、対話中は3項目、次回以降着手は2項目

| 区分 | 主な対話項目 | 進捗状況 |
|--|--|------|
| | | 今回 |
| トンネル発生土編 (5項目) | (1) 土石流、地すべり、深層崩壊等の大規模な土砂移動、濁水の流出、細かい粒子の底質への堆積などを想定し、生態系全体や景観への影響を考慮した対策 ※ 仮に、発生土を有効活用する場合は、その活用案に応じた対策を追加で検討する必要がある。 | △ |
| | (2) 全ての発生土置き場についての詳細な計画(立地、設計、モニタリング等) | △ |
| | (3) リスク管理の手法とリスク対策(リスクマトリクス、リスクマップを使用) | — |
| | (4) ツバクロ発生土置き場について、以下の点を踏まえた、影響の予測・評価及びその対応 ・広域的な複合リスク(土石流の同時多発の可能性等) ・対岸の河岸侵食による斜面崩壊の発生リスク ・土石流の緩衝地帯としての機能低下 ・予測のシミュレーション条件 | △ |
| | (追加) ・ツバクロ発生土置き場の断層(推定)の影響 | |
| (5) 自然由来の重金属等を含む要対策土の処理 ※ 現在のJR東海の計画(要対策土を藤島に盛土)は、条例上、認められない。 | — | |

進捗欄:○は対話完了、△は専門部会・事務レベル協議で対話中、—は専門部会で次回以降対話に着手(事務レベルで協議中)